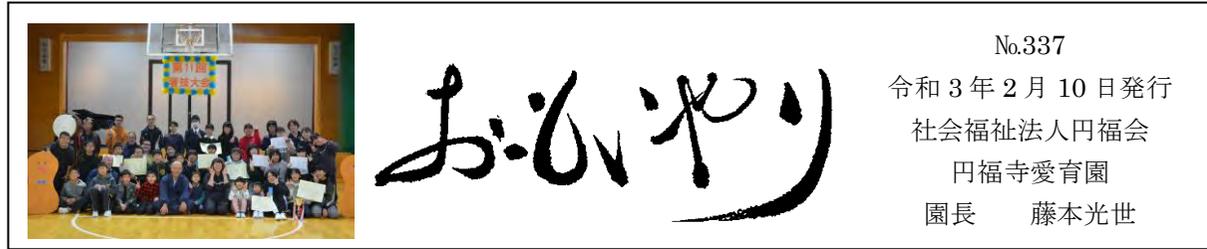


1ヶ月以上箸ピー練習頑張りました。今年は箸リンもやりました。

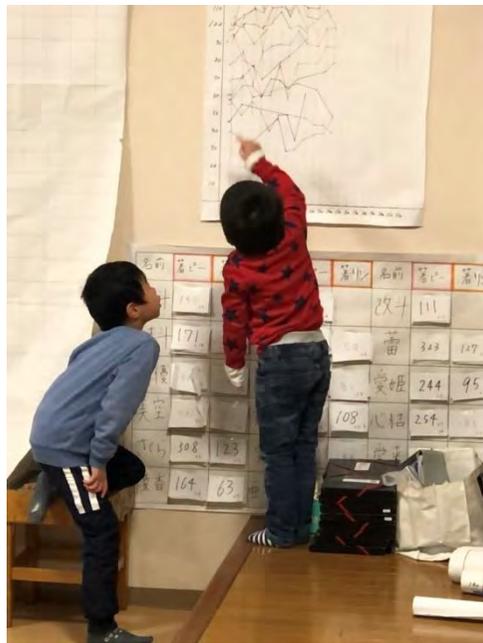


本気でやる

園長 藤本光世

1月23日(土)に第11回箸技大会を開催しました。これまでは箸ピー大会だった名前を変えた理由は、箸ピーに加えて箸リンの競技を入れたからです。

子どもたちは、決められた日の決められた時間に本気になって練習しました。毎日の記録は食堂



に貼り出されて、子どもたちはそれを見て励みにしていました。

本気になることで人は向上すると思います。必死になって頑張るからこそ、当日は緊張するのだと思います。緊張の中で競技して、さらに向上すると思います。そんな姿を子どもたちは見せてくれました。

一生懸命に競技している姿は美しいです。写真は職員や子どもの文にありますので、ご覧になって下さい。

ホームページには箸ピー右手の動画も掲載しました。そのスピードに「神技」とか、早送りではないかとか、驚きの感想が寄せられました。子どもたちはすごいです。

箸リンを取り入れたことを、国際箸学会の小宮山会長も喜んでくれました。箸リンは難しいです。だから、箸使いがきれいになります。大勢の人が箸技に親しんでいただけ

ると良いと思います。箸技の効果を書きます。

1. 箸使いがきれいになる。
2. 鉛筆が正しく持てるようになる。(正しい箸の持ち方をして、内側の箸を抜くとそれが正しい鉛筆の持ち方です)すると、字を速く美しく書くことができるようになる。
3. 集中力がます。1分間の集中力はすごいです。指は脳を活性化します。

箸技大会は、1月の愛育園行事として、しっかりと定着しました。

愛育園のお正月

愛育園の子どもたちは、コロナの影響で帰省する子はおらず、全員が愛育園でお正月を迎えました。私は、子どもの頃を懐かしく思い出して子どもたちに愛育園のお正月を話しました。昔は帰省する子はいませんでしたから。

子どもたちは正月一日の朝は、5時ころには起きて、愛育園の前の広い道路を100メートルもきれいに雪かきして、それから500メートルほど離れた更級横田神社に参拝しました。拝殿にあらせていただき、氏子総代で私の小学校からの親友の宮尾義雄氏にお祓いをして身を清めていただき、

二礼二拍手一礼の正式参拝を、心を合わせていたしました。その後愛育園に帰って、大きな声で般若心経を唱えてお勤めして、代表の児童が正月の決意をお地蔵さまに申し上げました。

写真は、元旦の朝のおせち料理です。二人の調理の先生が朝早く来て子どもたちと職員約40人分を作ってくださいました。子どもたちはお雑煮とおせち料理を「おいしい おいしい」と言って、「ありがとう」の心でいただきました。

こうして令和三年元旦の朝を「一年の計は元旦にあり」に相応しく過ごすことができました。きっといい一年になるでしょう。

下の写真は七日の朝の七草がゆです。子どもたちは春の七草を暗唱してくれます。11日は鏡開き、どんど焼き。こうして愛育園の子どもたちは日本の正月行事を地域の皆さまとともに進めることができました。きっと、生涯



忘れず自分の子どもたちに引き継ぐでしょう。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

に予選 4 位から決勝本番一発勝負の戦いで力を発揮し優勝を勝ち取った事はとても嬉しかったです。当の本人も相当嬉しかったようで、大会が終わった次の日まで、「俺、優勝したよ。」と何度も色々な職員に報告していました。この調子で受験も頑張っしてほしいです！

箸技競技は子供たちの様々ないい面を引き出してくれます。その事を子供たち自身が実感として感じられるからこそ、これだけ真剣になれて、全体の記録もどんどん上がって、盛り上がりが増しているのだと思います。

来年も、もっといい大会にできるように、子供たちと頑張っていきたいと思います。

第 11 回箸技大会

まごころホーム 加藤ゆかり

1 月 23 日に第 11 回箸技大会が開催されました。今年は、毎年恒例の箸ピーだけでなく、新たに箸リンという競技も追加しました。12 月から練習を開始し、子ども達は一生懸命練習に取り組んできました。「少しでも良い記録を出したい」と、記録にこだわってそれぞれ頑張っていました。

大会当日の開会式では、選手宣誓があります。今年は小学校 6 年生の M さんをお願いしました。M さんは人前で話をするのがあまり得意ではなく、初めは自信が無さそうでしたが、練習を重ね、正々堂々と選手宣誓を務めてくれました。競技は、練習とは違う緊張感の中行われました。練習の成果を出し切れる子もいれば、緊張からあまり記録が伸びず悔しい思いをする子もいましたが、ルール違反やトラブル無く競技を行えたことが何より良かったな、と思います。今年の箸技キングは、箸ピーと箸リンと記録を合計し、良い記録の子をキングとしました。今年の箸技キングは、選手宣誓を務めてくれた M 3 でした。初めての箸技キングで M さんも周りも驚いていましたが、「おめでとう！」とみんなに温かく声を掛けてもらい、嬉しそうな M さんでした。全員で協力して、とても良い大会になりました。

箸技大会



あおぞらホーム 金井雄大

1 月 26 日、第 11 回目となる箸技大会がありました。今年は、コロナの影響もあり園内での開催でしたが、子どもたちは練習から熱くなり、1 ヶ月ちょっと頑張ってきました。

今回、私は箸ピーの係としてはじめて行いました。記録の表を作ったり、劇のお面を作ったりと、作る系の仕事は多

かったのですが、大会運営の方は、先輩方に任せっぱなしになってしまったので、反省点です。

大会は、どの子も頑張っており、練習の成果を発揮している子もいれば、練習以上の成績を出して

(令和 3 年 2 月 10 日発行 月刊「円福」485 号付録)

いる子もいました。自分自身は全然練習できておらず、団体戦でもかなり足を引っ張ってしまったように感じます。来年は練習して、団体戦でも貢献できるようにしていきたいと思います。

箸ピーでは、あおぞらホームの中 3 の H くんが優勝できてとても喜んでいました。総合優勝は、まごころの小 6 の M さんでした。どちらもはじめての表彰とのことで、とても喜んでいました。

箸技大会



あおぞらホーム 畔上裕吾

1 月 23 日に箸技大会が愛育園体育館にて行われました。園の子どもたちは箸技大会に向けて約 1 ヶ月前から練習に取り組んできました。練習を始めた頃は中々思うようには記録が伸びずにいる子もいましたが、大会が近づくにつれて記録が更新されていく子が増えていき上達が速かったです。自分の記録が今どの程度の位置にいるのか可視化できるように職員でグラフや記録表を作り、

毎日記録をつけてきました。また、箸ピーに関してはピーナッツを箱から箱へ制限時間内に何個移動させることができるかという競技なのですが、ピーナッツを掴み易いように箸を切って長さを調整したり、好きな色や柄をつけたりするなど子どもたちはそれぞれ工夫してオリジナルの箸を作り練習に臨んでいます。

箸技大会当日は個人戦、団体戦と行われ大いに盛り上がりました。特に団体戦ではエキシビジョンマッチと称してあおぞらホーム対まごころホームでさらに職員も加わり、大熱戦でした。結果はまごころホームが勝利しました。

今回の箸技大会を通して、記録を更新させることも大切ですが、何か一つの物事に対してこれだけ集中力を発揮し、一生懸命になれる愛育園の子どもたちの力に驚かされました。また来年の箸技大会での活躍を期待したいです。

箸技大会 児童感想 あおぞらホーム

僕は初めての箸技大会に出ました。箸技大会に向けて練習をして、最初は良い記録が出てたけど、だんだん記録が出なくて、イライラして怒ったりもしたけど、その次の日には「頑張ろう！」と思って、練習しました。当日、大会の前の午前中は、会場の準備や慣らしの練習をしました。とても緊張してしまいました。ついに、箸技大会が始まりました。最初は、箸リンから



です。僕の記録は2回とも75で、同じでした。練習の時の最高記録は、104でしたが、本番で緊張して、自分の力が出せなかったけど、とても楽しかったです。箸ピーは、練習の時は、204が最高記録だったけど、本番の最高記録は199でした。200まであと1個でした。豆を落としてしまいました。とても悔しかったけど、一生懸命頑張れたので、悔いはなかったです。団体戦では、まごころに3回も負けてしまい、とても悔しかったです。けど、みんな最後まで一生懸命やっていました。とても楽しかったです。箸技大会のために、日に日にたくさん練習して、本番を一生懸命出来たことが、とても良かったです。とても楽しい箸技大会になりました。



(小6・Y君)

1月23日に箸技大会がありました。9時半くらいから体育館に集まって、長机や椅子を出して並べました。準備が終わった後に、全体の慣らしで、箸リンと箸ピーと団体戦をやりました。慣らしの時は、思ったように記録が出ませんでした。箸ピーは184で箸リンは84でした。その後、お昼ご飯を食べて、食休みをしてから、1時前に体育館に集まって開会式をやりました。その後、15分間練習をしてから、まず箸リンをやりました。1回目は92で2回目が98でした。箸リンはあおぞら小学生3位でした。その後に箸ピーをやって、練習の時には出なかった、245が出せました。2回目も、右で122出たけど、左が123で、245で同じ結果でした。その後の団体戦は3回戦とも負けてしまいました。キング決定戦もみんな凄く速かったです。その後、表彰式で箸リンはまごころが多かったけど、箸ピーは上位を全部あおぞらが獲りました。僕は敢闘賞に選ばれて嬉しかったです。来年も楽しみです。

(小6・M君)

1月23日に第11回箸技大会がありました。予選では、金井先生に審判をしていただきました。箸リンでは、とても調子が上がらずに、1回戦96個、二回戦目は106個でした。箸ピーではとても調子が良く、1回戦は299個、2回戦目は286個でした。キング決定戦は団体戦の後にやりました。団体戦では、まごころがあおぞらに3対0で勝ち、とても嬉しかったので、来年は勝てるようにしたいです。キング決定戦では、箸リン、箸ピーともに出場できたので良かったです。箸リンでは7位からのスタートでした。記録は113でした。全体では6位だったので良かったです。箸ピーでは、去年惜しくも1位が獲れず、3位という結果に終わってしまったので、「今年こそは1位になる」と思いながら練習をやりました。記録は315個。満足のいく数字でした。全体の1位になることが出来ました。来年は、箸ピー、箸リン、総合優勝を全部獲って、3冠になれるように努力していきたいです。

(中3君・H君)

箸技大会 児童感想 まごころホーム

今年は、コロナウイルスが流行って、お客さん、学校の先生たちも来れず、園内だけの箸技大会になってしまいました。開会式では、みんなの前で選手宣誓をやりました。とても緊張しました。その次に、個人戦の箸リンをやり、一回目は122個、二回目は120個でした。



個人戦の箸ピーは、一回目は246個でした。これじゃだめだと思ったので、二回目は頑張ってやり、310個できてとても嬉しかったです。団体戦は、三回とも、まごころチームが勝ちました。とても嬉しかったです。

その次に、キング決定戦をやりました。8位までの人が呼ばれて、私は箸リンは3位、箸ピーは2位に呼ばれ、嬉しかったです。記録は、箸リンが127個、箸ピーは283個でした。もう少し本気が出せたかなと思いました。



閉会式では、箸リン、箸ピーも6位まで表彰されます。箸リンでは2位になりました。1位がよかったけど、嬉しかったです。箸ピーは4位でとても悔しかったです。その次に、箸リンと箸ピーの一番良かった記録を足した総合チャンピオンの人は、私でした。うれしかった気持ちもあったし、びっくりした気持ちもありました。賞状ももらったし、景品ももらい、トロフィーも初めてもらいました。とてもうれしかったです。来年は、もっともっと練習して、記録を超す思いで、練習して、また総合チャンピオンになりたいです。

(小6・Mさん)



1月23日に箸技大会がありました。13時から大会が始まり、開会式をした後、箸リンから記録を取りました。私の中で一番記録が良かったのは、箸ピーの206個でした。団体戦では、3回やって3回ともまごころが勝ちました。団体戦の時、他の子がやっているのを応援できてよかったです。そして表彰式になりました。箸リンの1位はAちゃん、箸ピーの1位はHくんでした。総合チャンピオンはMちゃんでした。びっくりしました。来年はもっとはやく豆を運べるようにしていきたいです。

(中1・Mさん)



箸技大会が行われました。園に来てから2回目の箸技大会でした。個人の箸リン、箸ピーでは、私は、練習のような結果にはなりませんでしたが、楽しめたので良かったと思います。来年はもっと良い結果を出せるように練習を工夫したいです。とくにもりあがった団体戦では、応援が絶えず、どちらが勝つか分からなかったです。3試合やり、すべてまごころが勝ちました。私は、「頑張れ！」より、「落ち着いて！」

と言われ、複雑でしたが、職員、児童混合チームでは落ち着き、ミスなく出来ました。

団体戦が盛り上がりを見せた後、箸リン、箸ピーの上位8名による王者決定戦で、早く、丁寧にやっているのを、思わず食い入るように見ていました。

私は、賞状がもらえるほどいい結果ではありませんでした。しかし、楽しく出来たので良かったです。来年はもっといい大会にしたいです。

(高2・Aさん)

大黒天

あおぞらホーム 石龍成己

元日は横田神社に初詣に行き、2日は円福寺へ大黒天のお参りへ行きました。普段は本堂の室中に置いてある、大黒天が本堂中央に置かれ、円福寺の職員や宗門の僧侶と共にご祈祷をしました。今回はコロナ流行と言うこともあり、残念ながら基本的には参拝者がいないという状況で執り行いましたが、その代わり、子ども達と一緒に大きな声で般若心経を読んでもくれました。経本の転読もあり、30分と言う長時間の間正座でしたが、最後まで真剣な表情で参加できました。参加出来なかった参拝者はお札で名前を読み上げられました。園の子たちは、絵馬を祈祷してもらいました。その後、境内に祀って園に帰りました。例年ですと、福引をやったり、お汁粉などの出店があったり、少しお祭り風にやっていた行事でしたが、1回切りの祈祷に、みんな力を込めてお祈りできた機会となりました。

大学入学共通テスト壮行会

あおぞらホーム 大山豊彦

1月15日に高校3年生のM君の壮行会をしました。2日前から中高生有志で応援練習をはじめたのですが、有志の4人がとても頑張っていて応援練習をしている姿を見て感動しました。練習1日目には大体の流れや動きを3人に覚えてもらい、ドラム好きのK君には太鼓の練習もしてもらいました。2日目には夕方土手に行き、大きな声を出す発声練習を行い、夜は動きのキレ、太鼓のタイミングなどを合わせ、中高生の集中力は改めてすごいなと感心しました。特に太鼓を打つK君は

(令和3年2月10日発行 月刊「円福」485号付録)

伝えたりリズムをすぐに理解し、実践できることが素晴らしいと感じ、一緒に取り組めたことが嬉しいです。当日は、小学生たちも合流し、応援の掛け声練習をしたり、ぎりぎりまで動きの確認を何度もして本番に臨みました。そして、本番では一人一人、緊張はするものの凛々しい顔で、高3のM君を応援し、最後には一言応援のメッセージを一人一人送って、壮行会を成功に収めることができました。

壮行会后、M君が「今までは応援する側にいたけど今は応援される側にいるんだな」と話しており、愛育園ではこうやって下の子達が先輩を応援し、その下の子達が先輩になったら応援されていく素晴らしい伝統があるんだなと感じました。私も子ども達一人一人を精一杯応援しながら、今後も頑張りたいと思います。



西横田どんど焼き

あおぞらホーム 石龍成己



1月13日、西横田地区のどんど焼きが千曲川土手で行われました。愛育園からは小学生の子たちが参加しました。7日間、飾っていた正月飾りや門松を持って行ったり、お餅を持って行って焼きました。数日前から準備をしており、餅にマーガリンを塗ってアルミホイルで包み、それを竹から針金などで垂らして焼くのがいつものやり方なのですが、今回は山田tが提案し、竹の先を割いて、間に餅を2~3個挟み、針金で固定し、1度で複数個焼ける形にしました。今回初めてどんど焼きに参加する子もいて、焼き立てのお餅を嬉しそうに食べていました。おいしいのか、もっと食べたいという子もいました。また近くにいた園長先生に焼き立ての餅をプレゼントする子もいました。お餅を力に、今年1年も無事に過ごせればと思います。

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 山田忍

新年を迎え、あっという間に1月が終わろうとしています。年末年始はコロナの影響もあり、一人も帰省することが出来ず、全員が園で年を越すことになってしまいました。しかし、あおぞらホームのみんなは冬休み中、帰省できない寂しさをもろともせず活動していました、ホーム食としてラーメン、餃子作り、お正月の凧作り、聖高原へみんなでソリ遊びに行ったりと寒さにも負けず元氣よく楽しく冬休みを過ごすことが出来ました。休みが終わり、それぞれに学校が始まりましたが、

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

大学受験の子は先日の共通テストが終わってもまだまだ気が抜けず、高校受験の子は本番に向けてドキドキしていることと思います。小学校6年生たちも中学に向けて制服の採寸をしたり中学校へ体験授業に行ったりと慌ただしく、過ぎるのが早い月でした。2月に入ればさらにあっという間に3学期が過ぎて行ってしまいます、期末テストや大学の二次試験、授業参観、地区の行事や園でのドッジボール大会、卒園に向けた準備など子どもたちも私たちも短い3学期を次の年度のための準備として気を抜かずに過ごしていけるようにしていきたいです。



まごころホーム日より

まごころホーム 竹内早季

3学期が始まり、早くも1ヶ月が経ちました。先日、園内で毎年恒例の箸ピー大会改め、「箸技大会」が行われました。この大会のために毎日子どもたちはこつこつ練習を重ねてきました。幼児さんたちも箸を使って練習をし、記録が伸びると歓声を上げて喜ぶ姿が印象的でした。行事を通して子どもたちの心の成長を感じることができました。また、卒園、卒業を控えている子どもたちもいるので、少しずつ準備が始まっています。まごころホームには高校受験を控えている子が2人、卒園生は1人います。それぞれ自分の将来のために日々頑張っています。時には弱気になることもありますが、少しずつ気持ちを整理しています。小学校、中学校に進学する子どもたちも何人かいるので、期待と不安が感じられますが、ホーム職員でしっかりサポートしていきたいと思っています。2月はバレンタインのチョコ作りやドッジボール大会があります。子どもたちの日々の成長につながるように、生活にいかしていきたいです。

調理室日より

調理員 宮沢まき江

令和3年を迎えた元旦の朝！！

コロナ禍の中、一人も帰省がなく、34名の児童全員がお正月を迎え、食堂に「明けましておめでとう」と元気よく入ってきてくれました。

「一年の計は元旦にあり」きっとみんな良い一年になる事を祈りながら調理では心を込めて、おせち料理とお雑煮を提供させていただきました。

子供達も満面の笑みで「おいしい！」と食べてくれました。

(令和3年2月10日発行 月刊「円福」485号付録)

一月は4人の誕生日メニューがありました。

7日 七草粥

9日 K君誕生日メニュー

ざるそば・天ぷら・抹茶パフェ

11日 鏡開き

おやつにおしるこ

15日 H君の大学センター試験応援メニュー

とんかつ・ポテトサラダ・杏仁豆腐パフェ

16日 Mさん誕生日メニュー

ドリア・鶏の唐揚げ・さけチーサラダ・いちごパフェ

19日 Y君誕生日メニュー

ラーメン・ポテトサラダ・スペシャルパフェ

27日 Tさん誕生日メニュー

カレー鍋・マカロニサラダ・チョコバナナパフェ

28日 H君誕生日メニュー

グラタン・鶏の唐揚げ・ポテトサラダ・スペシャルパフェ

今年も一年子供達から様々なリクエストメニューが届く事と思いますが、心に残る様々な味と創作を工夫しながらやっていこうと思います。

